

## 腸管出血性大腸菌感染症患者の発生について

### 1 発 生 日

発生 令和6年7月9日(火) 速報 令和6年7月19日(金)

### 2 患 者 数

1名 (女、幼児)

### 3 概 要

#### (1)経 過

7月9日(火) 患者(岡山市)は、腹痛及び軟便の症状を呈した。

7月10日(水) 患者は症状が改善しないため、市内医療機関(診療所)を受診。

7月11日(木) 患者は血便の症状を呈したため、市内医療機関(病院)を受診。

7月13日(土) 患者は症状が改善しないため、市外医療機関(診療所)を受診。

7月17日(水) 検査の結果、腸管出血性大腸菌(O157)によるペロ毒素産生が確認されたため、保健所に届出。

#### (2)その他

- ・患者の症状は軽症化している。
- ・感染源は不明。
- ・現在のところ散発事例と考えている。

### 4 参 考(患者発生状況)

区 分	令和6年1月1日から
岡 山 市	11人
県内(岡山市を除く。)	10人
県 内 合 計	21人

(岡山市の前年同時期の発生状況:25人)

◎報道に関しては、患者等のプライバシーの保護について、特段の配慮をお願いします。

※ 腸管出血性大腸菌感染症を予防するために

手洗いの励行。(調理前、食事前、用便後)

十分な加熱。(75℃で1分間以上)

をお願いします。

#### 【問い合わせ先】

岡山市 保健管理課 森・山本 直通086-803-1251 内線5751